

## 2 ことばクリニック来室者の歯科受診について

小林梢<sup>1</sup>, 大平芳則<sup>2</sup>, 青木さつき<sup>3</sup>, 渡辺紗江子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>明倫短期大学附属歯科診療所

<sup>2</sup>明倫短期大学保健言語聴覚学専攻

<sup>3</sup>明倫短期大学附属歯科診療所ことばクリニック

keywords : 言語聴覚療法, 歯科診療, ことばクリニック

### はじめに

本学には, その中にことばクリニックを持つという, 全国的にもまれな附属歯科診療所がある。そして, 来院される患者の中には, 歯科診療とことばの訓練 (ST) の両方を受ける方がいる。そこで, 歯科診療とSTの両方を受けた方の実態を調査し, 当診療所が果たす地域の保健医療における役割について考察する。なお, 本稿では, STを受けるための問診や口腔内診査等は「歯科診療」には, 含まないものとする。

### 方法

ことばクリニックが開設された2004年10月から2008年9月までの4年間の, 歯科診療とSTの両方を受けた人の歯科診療内容を, また, STを受けた人の家族の歯科受診状況を, パワーカルテから調査した。

### 結果

4年間でSTを受けた者は620名で, そのうち歯科診療も受けた患者は91名 (15%) であった (図1)。その91名が受けた歯科診療の内訳は, 一般治療のみが45名 (50%), フッ素塗布のみが28名 (31%), 一般治療とフッ素塗布両方が18名 (20%) であった (図2)。また, STを受けた人の家族で歯科受診をした人は92名おり, その内訳は, 親49名 (53%), 同胞41名 (45%), その他2名 (2%) (図3), 歯科診療の内訳は, 一般治療75名 (82%), フッ素塗布17名 (18%) であった (図4)。

### 考察

歯科診療を受ける患者のうち, STが必要な者は少ないと思われるが, 一方ST受診者には, 予防処置を含む歯科診療の適応のある者が相当数いると考えられる。

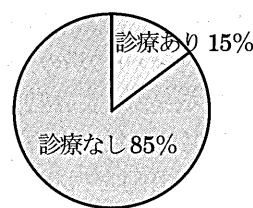


図1 歯科診療の有無

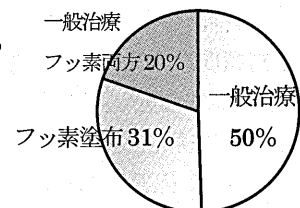


図2 歯科診療の内訳

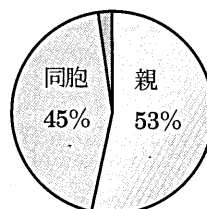


図3 家族の内訳

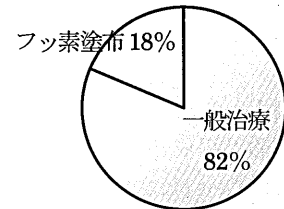


図4 家族の診療内容

しかし, ST受診者のうち歯科診療も受けた人は15%と低い比率にとどまった。その理由として, すでに他院で治療を受けている者がいること, 予防処置の大切さが十分認識されていないこと, が挙げられる。必要な歯科処置を受けるST受診者を増やすには, 従前以上に予防処置の重要性について啓発する必要がある。

ST受診者には親がつきそうことが多いが, 歯科診療とSTをまとめて受けることは, 保護者の負担軽減につながる。また, 単につきそいのためだけに来院するのではなく, 保護者が同時に歯科受診をすることのメリットは大きい。同胞など親以外の家族がいっしょに来院し, 歯科受診することも同様である。このようなクライアントにとっての利益は, 当診療所の大きな特徴である。

当診療所は, 歯科診療所の中にことばクリニックが併設されている特徴そのものが, 地域医療に貢献していると言えよう。